

平成 22 年度年次報告

課題番号：8004

(1) 実施機関名：

海上保安庁

(2) 研究課題（または観測項目）名：

海域における地形・活断層調査

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ. 地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形調査等の調査を継続する。

(7) 平成 22 年度成果の概要：

南海トラフ周辺海域において、海底地形の調査を実施した。

また、福岡県北部に位置する西山断層帯から北西沖の範囲において、精密海底地形調査を実施した結果、断層の活動に由来すると思われる変動地形を発見した。

(8) 平成 22 年度の成果に関連の深いもので、平成 22 年度に公表された主な成果物（論文・報告書等）：

佐藤勝彦・伊藤弘志，2011，福岡県沖玄界灘における海底地形調査速報，海洋情報部研究報告，47，印刷中。

(9) 平成 23 年度実施計画の概要：

巨大地震の発生が懸念されるプレート境界域等において、海底変動地形等の調査を継続する。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

海洋調査課

他機関との共同研究の有無：無

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：海上保安庁海洋情報部海洋調査課

電話：03-3541-4456

e-mail：下記 URL の問い合わせフォームから問い合わせください。

URL：http://www1.kaiho.mlit.go.jp/

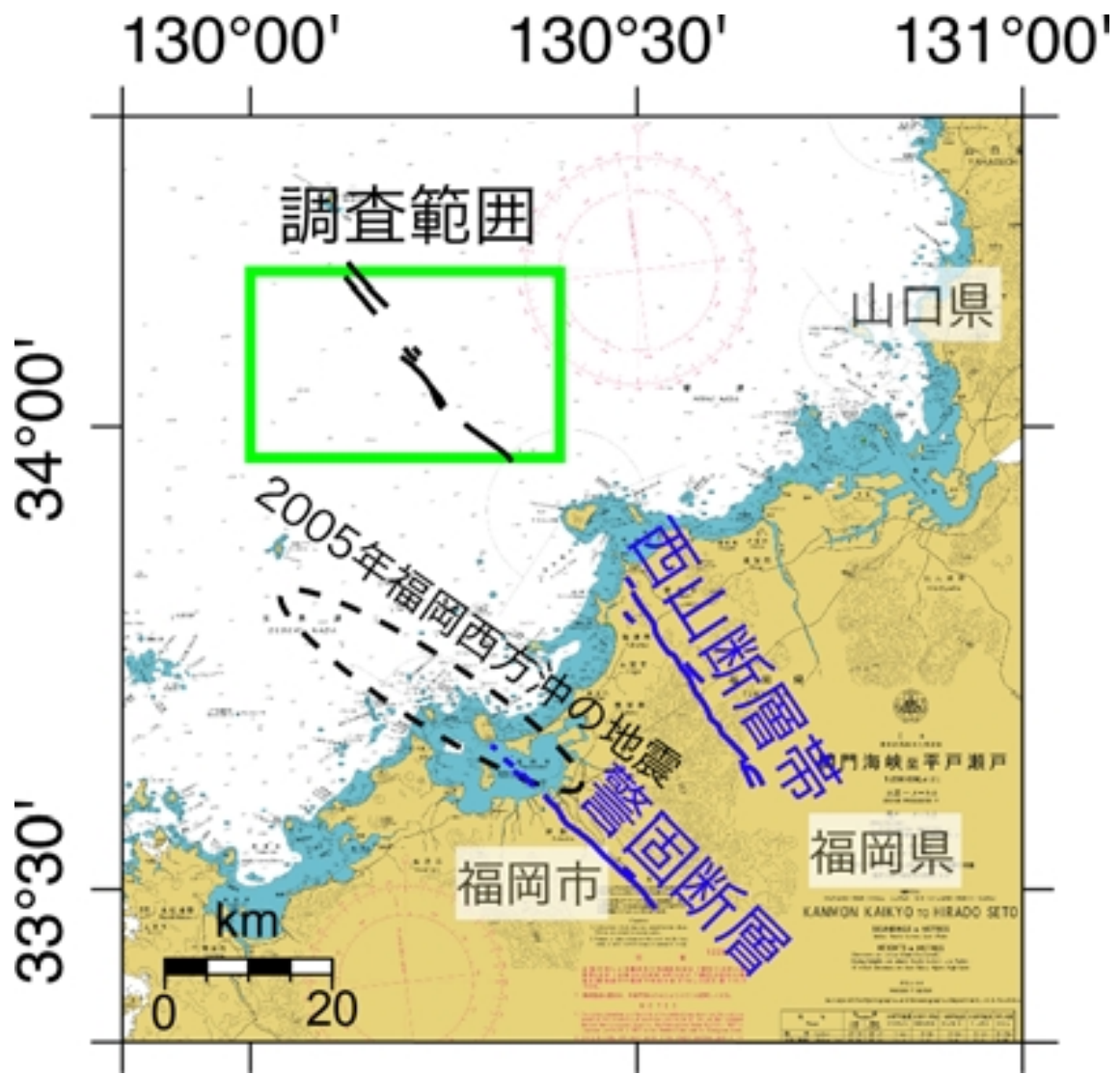


図1. 調査範囲

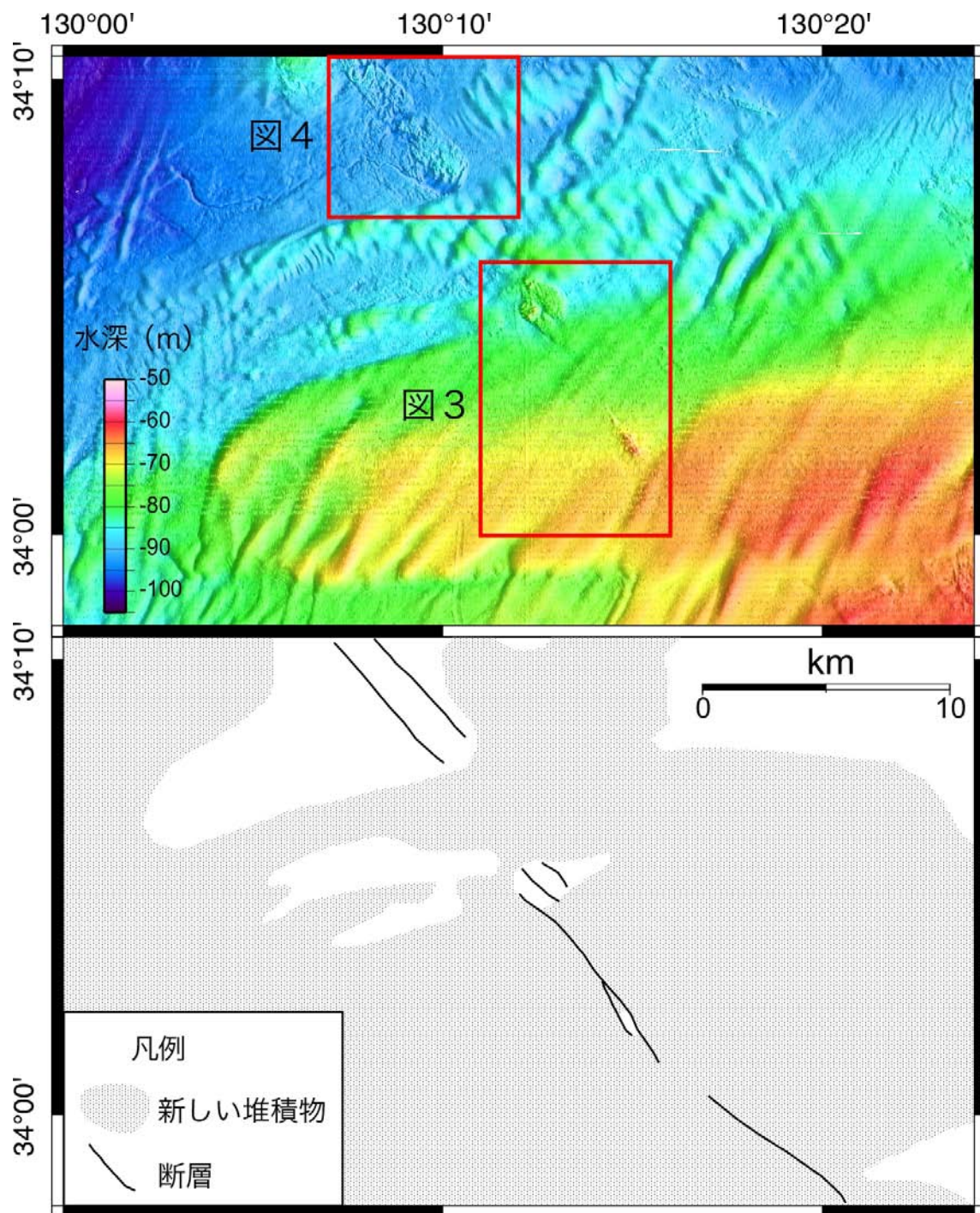


図2. 海底地形調査の結果

本海域では、古くて固い地層の上にサンドウェーブを伴う新しくて柔らかい堆積物が載っており、断層はその両方に変位を与えている。

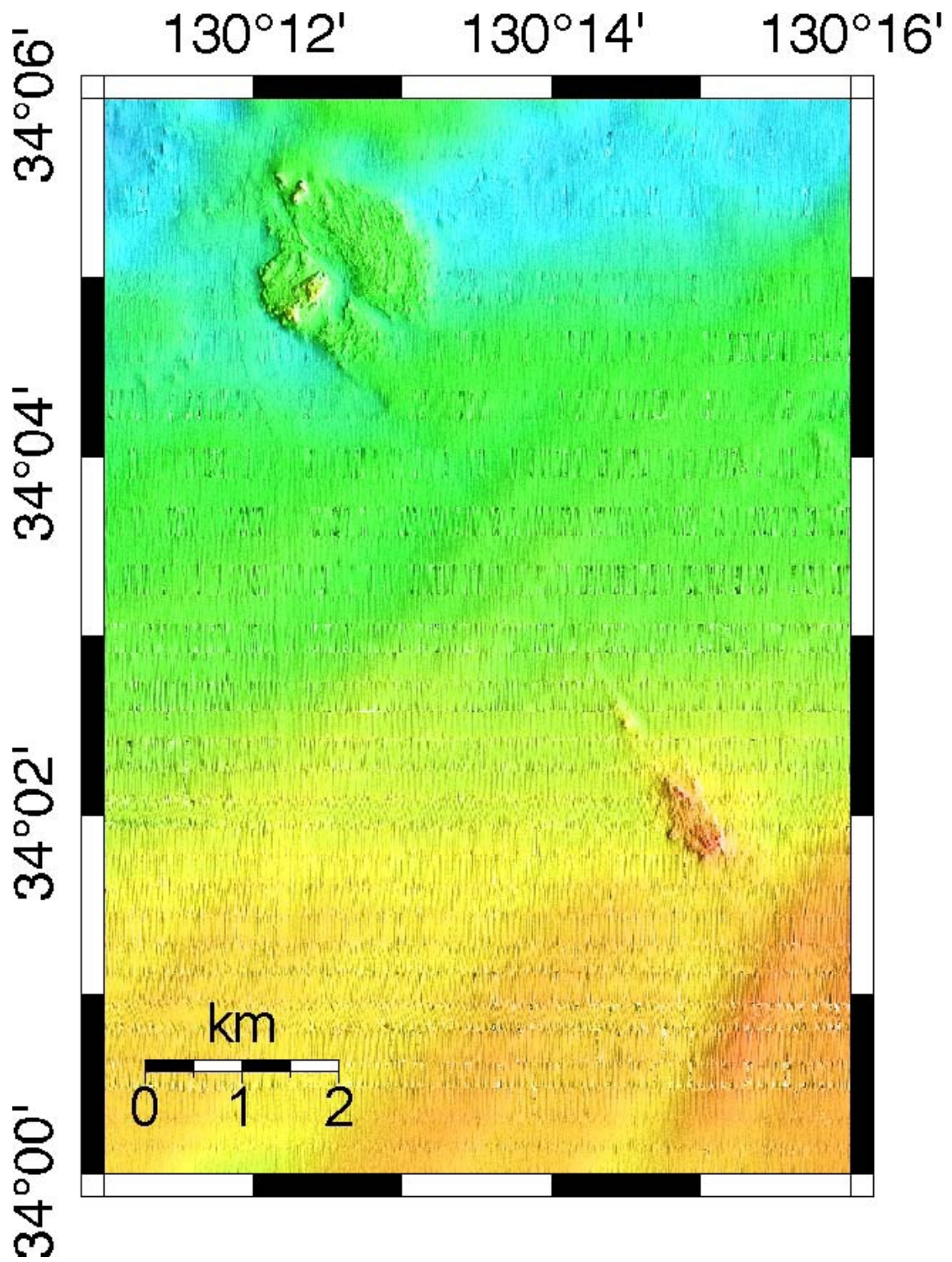


図3. 地形の詳細

横ずれ断層の活動によって形成されたと考えられる2ヶ所の高まりと、それらを結ぶ溝が見られる。

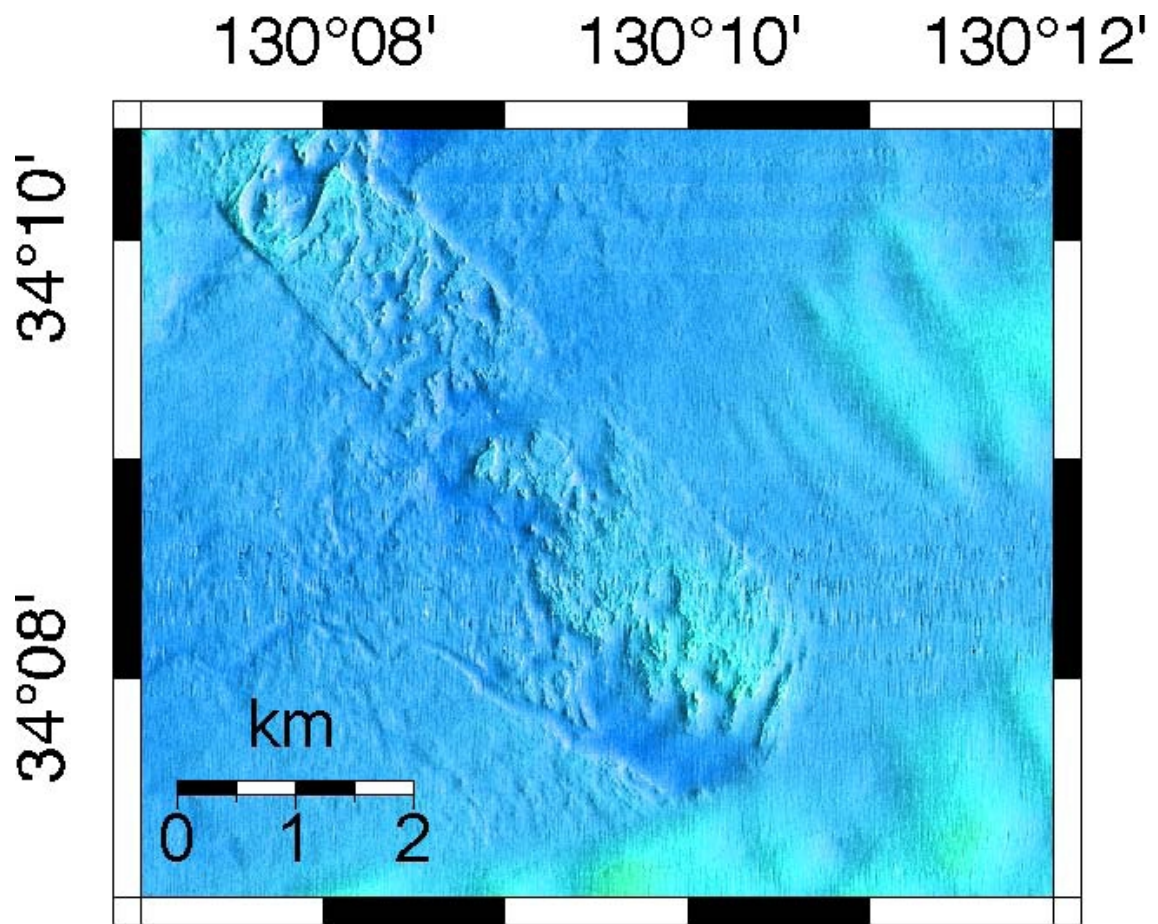


図4. 地形の詳細

横ずれ断層の活動によって盛り上がったと考えられる高まりが見られる。